

# Newsletter

Kanto Branch of Japanese Geotechnical Society

## 関東支部発足にあたって

地盤工学会関東支部 支部長 石原研而

この度発足した関東支部の支部長を務めさせていただくこととなりました。至らぬところも多々あると思いますが、よろしく願いいたします。支部設立の必要性は相当以前から指摘されていましたが、今回それが実現し大変喜ばしく思います。これが学会全体の今後の発展に寄与できることを願っています。関東支部設立の目的は次のように要約できると思います。



学会の目標は全国的活動に向きがちで、関東地域内の会員に対するサービスが疎漏になりがちでした。特に特別会員に対する配慮が欠如し、他の支部に比べて特別会員の数が少ないことが指摘されてきました。この点を是正する必要があります。

関東平野地域だけを見ても西方には武蔵野の台地があり、それを削って出来た数多くの谷が東方の大沖積平野に向かって発達し、起伏に富んだ複雑な地形を構成しています。これらは千葉、埼玉、東京、神奈川と複数の行政区に分かれていて、洪水や地震時の災害を地盤工学的立場から総括的に検討する機会が少なかった訳です。関東地方の北部や西部は山岳地帯になっていますが、大小の河川の渓谷や平野には都市が発達し、洪水や地震の災害を受け易い構造を内蔵しています。これらを行政の壁を越えて一つの地域として眺め、その地盤工学的諸問題を総括的に取上げて検討する必要があります。

最近では会員の継続教育や社会に開かれた学会活動などが重視されています。業務で忙殺され易い現場技術者の啓発とか、地盤工学の社会的意義を一般の住民に理解してもらう努力をすることが求められています。これらに対して実効を挙げるためには、上位下達方式の企画では無効であり、市とか県とかの単位で、地域に根ざした自発的な活動が芽生え成長していくことが望まれます。これを支援し、このための枠組みを準備し、関東地域に居を置く会員の隆盛を図る必要があります。

地域内で同志同業の者が交流を深め、情報交換の機会を頻繁に持ち、共存共栄を図ることも必要であります。

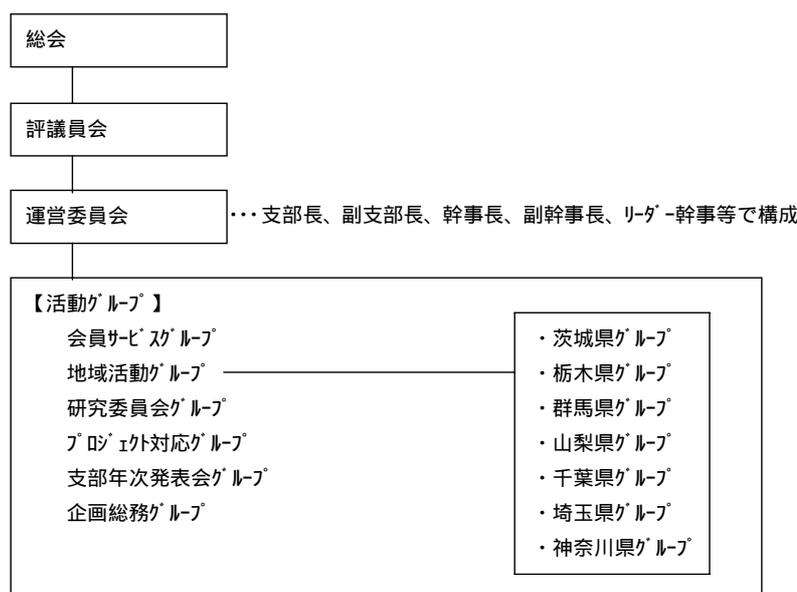
以上のような主旨と目的のもとに、皆様のご協力を得て、関東支部が自立繁栄できるよう努力したいと思っております。幸いにも副支部長、評議員、幹事の皆様には有能で志気旺盛な方々が揃っておられ心強い限りです。どうぞよろしくご協力をお願いいたします。

## 関東支部の概要

企画・総務グループ

本年5月28日に関東支部設立総会がJGS新会館で行われ、「地域と会員により一層密着した学会活動」を目標にして関東支部が活動を開始しました。以下に、関東支部の活動の概要を紹介いたします。

1. 活動体制 (支部設立総会議案より抜粋・加筆)



2. 役員名簿 (支部設立総会議案より抜粋)

(平成16年5月28日現在)

役職名	氏名	所属名	役職名	氏名	所属名
支部長	石原 研而	中央大学	評議員	坂入 健	茨城県土木部
副支部長	安原 一哉	茨城大学		高橋 忍	栃木県土木部
	三木 博史	(独)土木研究所		川西 寛	群馬県土木部
	田中 洋行	(独)港湾空港技術研究所		三井 克己	山梨県土木部
	末岡 徹	大成建設(株)		青山 俊行	千葉県県土整備部
	瀬古 一郎	関東地質調査業協会		初芝 久夫	千葉市建設局
支部監事	石井 雄輔	(株)大林組		小沢 隆	埼玉県県土整備部
	是枝 慶一	基礎地盤コンサルタンツ(株)		富山 徳一	さいたま市建設局
幹事長	岸田 隆夫	東亜建設工業(株)		小山 剛司	神奈川県県土整備部
副幹事長	山崎 晶	(株)熊谷組		田中 亨	東京都建設局
評議員	齋藤 邦夫	中央大学		田口 靖	東京都水道局
	柴田 英明	国土館大学		中村 益美	東京都下水道局
	徳江 俊秀	日本大学		樋口 和行	東京都港湾局
	東畑 郁生	東京大学		高辻 哲	東京電力(株)
	時松 孝次	東京工業大学		前田 泰生	電源開発(株)
	今泉 繁良	宇都宮大学		高木 宣雄	東京ガス(株)
	鶴飼 恵三	群馬大学		斉藤 俊樹	東日本旅客鉄道(株)
	村上 幸利	山梨大学		入江 健二	東京地下鉄(株)
	畑中 宗憲	千葉工業大学		社本 康広	清水建設(株)
	風間 秀彦	埼玉大学		阿部 裕	鹿島建設(株)
	今井 五郎	横浜国立大学		坪井 英夫	不動建設(株)
	村田 修	(財)鉄道総合技術研究所		常木 康弘	(株)日建設計
	伊藤 洋	(財)電力中央研究所		滝口 志郎	応用地質(株)
	奥山 武彦	(独)農業工学研究所		山本 達夫	パシフィックコンサルタンツ(株)
	平野 敬治	東京都土木技術研究所		友永 則雄	(株)建設技術研究所
	木村 昌司	国土交通省関東地方整備局企画部		杉山 仁實	日本工営(株)
	藤田 郁夫	国土交通省関東地方整備局港湾空港部		若松 二郎	茨城県地質調査業協会
	坪田 英明	国土交通省関東地方整備局営繕部		佐藤 節	栃木県地質調査業協会
	高島 賢二	経済産業省原子力安全・保安院		中村 政邦	関東地質業協会千葉県支部
	山本 裕己	日本道路公団東京建設局		遠藤 計	埼玉県地質調査業協会
	網野 正観	都市基盤整備公団東京支社		佐久間 茂樹	神奈川県地質調査業協会
	高橋 浩一	(独)鉄道・運輸機構関東支社		大越 良裕	(社)東京都地質調査業協会
	飯島 啓秀	首都高速道路公団東京建設局			

### 3. 事業計画（支部設立総会議案より抜粋・加筆）

関東支部は、茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・千葉県・埼玉県・神奈川県・東京都の1都7県の会員・地域を対象にして、新会館内に事務所を置いて活動します。活動はグループに分かれて実施し、各グループの事業計画は以下の通りです。

#### 【会員サービスグループ】

「土と基礎」の購読のみが学会との接点というような一般会員や特別会員に対し、従来行ってきたアフター5談話会・現場見学会・地盤調査実技講習会などや、身近で魅力的な新規行事の企画を強力に推し進める予定です。

#### 【地域活動グループ】

各県に数名の幹事団を設置し、各地域に根ざした活動を実施します。具体的には、地域で計画・実施中の建設プロジェクトや技術開発機関の見学会、地域の特長を活かしたテーマの講演会、各地域の地盤技術者の要望に基づく技術講習会などを地元の関連学協会と連携し開催する予定です。

#### 【研究委員会グループ】

関東地区に特有の地盤工学上の問題を扱う研究委員会を複数立ち上げる予定です。関西地区に比べ、関東地区の地盤情報のデータベース化は非常に遅れており、テーマに採用する予定です。

#### 【プロジェクト対応グループ】

産官学の技術交流をより一層深めるため、地盤工学的課題を有する進行中のプロジェクトを対象に、事業実施機関の関係者を交えた技術交流会を企画し、プロジェクトの技術的課題や新技術・新工法の評価などについての情報交換を行います。

#### 【支部年次発表会グループ】

本年度末頃の開催を目指して「関東支部研究発表会（仮称）」を計画しています。これは、本部主催の研究発表会をスケールダウンしたのではなく、若手技術者や学生会員を主な対象として、「優れた施工技術」や「新しい設計技術」、「調査法」や「計測法」など、実務における新しい技術の紹介と学生会員への啓発に重点を置くように計画する予定です。

#### 【企画総務グループ】

支部長と密に連携をとりながら、各グループの活動をスムーズに行うための潤滑油として動きます。また、ホームページ・E-mail・ニューズレター等を用いて、関東支部の活動を会員や関連諸団体に積極的に展開いたします。中高校や自治体等へ地盤工学や学会を理解していただくための広報活動や、会員の拡充にも力を入れます。

## 「関東各県からの躍動発進！！」

地域活動グループリーダー幹事 小峯秀雄（茨城大学）

私は東京生まれの東京育ちです。生粋のシティボーイとっていました。ところが、就職して千葉県に移り住み、見つけた嫁さんが茨城県出身であったことが運命なのか。そして、今は住まいも勤め先も茨城県となりました。このような経緯からか、関東支部の地域活動グループのリーダー幹事を任じられ、今ここに筆をはらせているわけでありませう。

関東支部の発足に伴い、その活動の一翼を担うのは、関東七県の活動であります。そこで、今回、各県の今後の活動方針等を関東支部会員の皆様にご紹介し、何らかの形で参加するきっかけになればと思い、ご案内させていただきます。それでは、各県のリーダー幹事さんからお知らせいただいた各県の活動内容について、私から簡単ではありますが、ご紹介させていただきます。

#### 【茨城県】

茨城県では、いばらき建設技術研究会と共催で、現場もしくは研究施設見学会を、10月～11月の間の1日で行おうと考えています。昨年度は、つくばエクスプレスの建設現場見学会、他県からの参加者も多数ありました。茨城県には、様々な研究機関がありますので、これらの見学会を今年の目玉にしたいと思います。また、来年1月には、最新技術の講演会を開催したいと思います。



【栃木県】

栃木県では、見学会や講演会もしくは講習会の開催を予定しています。昨年実施した講演会でのアンケート調査では、「実務的な講演・研修」と「基礎的な勉強会」を希望される方が多数いましたので、そうした内容を現在検討中です。また、11月には北関東に位置する大学や高専の教員や学生を対象として北関東地盤情報交換会が足利工業大学にて行います。

【群馬県】

群馬県では、まず、県内内在住の会員による意見交換を行い、地盤工学に関する技術普及と会員数増加に寄与する活動を行う予定です。

【山梨県】

山梨県では、南アルプス林道の防災対策工の見学会を予定しております。また、講習会も検討しています。関心の有る方は、山梨県リーダー幹事にご連絡ください。

【埼玉県】

埼玉県では、まず、県内の会員の名簿整理と状況把握を行います。基本的には、会員同士の親睦を深めると共に意見交換を行います。また、非会員（関係団体、教育機関など）への広報活動を中心に実施していきます。

【神奈川県】

神奈川県では、海・山・都市が近接する地域特性、数多くの研究機関が存在する環境を考慮した活動計画しています。まず7月に幹事会を行い、地域に根ざした活動方針を設定します。それに応じた形で民・官・学3者共同の勉強会、現場見学会、研究施設見学会などを開催し、実のある活動を基礎にしていく予定です。普段見ることが出来ない最先端の技術や地域特性を会員各位に紹介できればと考えています。

【千葉県】

千葉県では、第1回講演会として9月15日に県内地盤関連企業団体などとの共催で「千葉県内の都市基盤整備について（仮題）」と題する講演会を千葉県県土整備部長青山俊行氏（予定）により行う予定です。その他、見学会（年内）と講習会（翌年春）を予定しております。

【行事報告】

支部設立総会、第1回評議員会・第1回幹事会合同会議（5月28日）

第24回アフター5談話会（6月2日、参加者20名）

技術士試験準備講座（講師：Pスロ 加藤真樹氏）

運営委員会（6月25日、出席者16名）

平成16年度の各グループの活動計画などについて検討。

関連学協会への新会館・関東支部のお披露目と懇親会（7月5日）

関連の16協会の幹部を招き、学会側は太田会長、石原支部長、足立前会長などが出席し実施。

東京国際空港の拡張に伴う施設沈下の対策等の現場見学会（7月15日、参加者39名）

【行事予定】

千葉県内の都市基盤整備について（講演会）

9月15日、千葉県千葉市中央区、近日中に案内予定。

編集後記

皆様のご協力で、第1回目のニューズレターを発行することができました。ニューズレターを通して関東支部をより身近に感じていただく目的で年4回発行する予定です。ニューズレターに関するご意見はもちろん、支部活動に対するご支援・ご指導をお願い致します。最後に今回ご執筆頂いた方々に感謝の意を述べ、編集後記とさせていただきます。（樋口佳意：企画総務グループ幹事）

発行 社団法人 地盤工学会関東支部 〒112-0011 東京都文京区千石四丁目38番2号  
TEL03-3946-8670 FAX03-3946-8678 E-mail : jgskantou@jiban.or.jp